



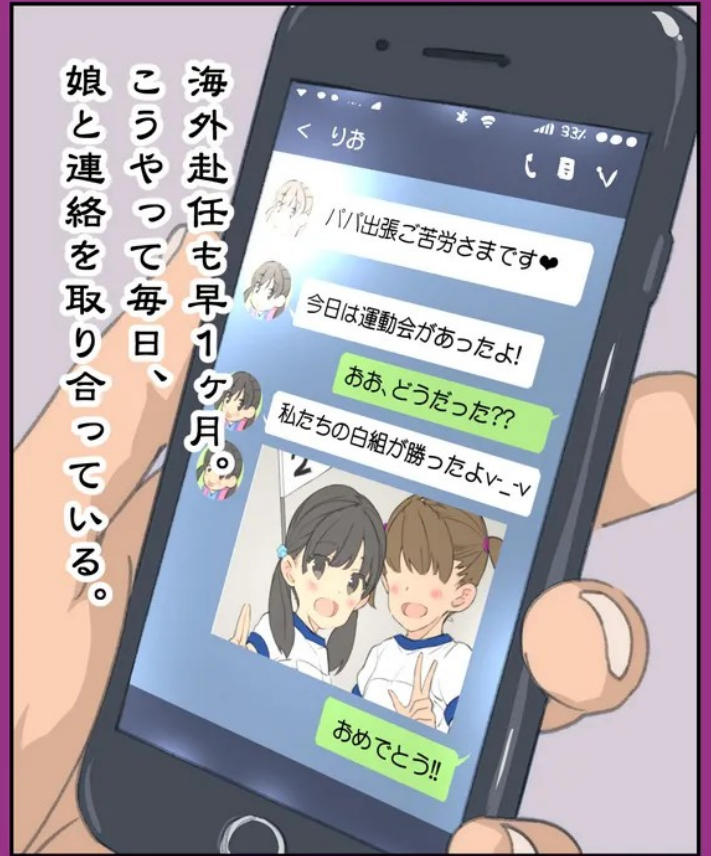
海外赴任のマドロス

秒殺狸団



りお、君は俺の天使なんだ……。

ああ……りお……
可愛い愛娘よ……写真じゃない
本当の君に会いたいよ。



海外赴任も早いヶ月、
こーやって毎日、
娘と連絡を取り合っている。

< りお

パパ出張ご苦労さまです♥

今日は運動会があったよ!

ああ、どうだった??

私たちの白組が勝ったよv-v

おめでとう!!



お客さん
お目が高いネ
これちよつと
日本人の血
入った子で
昨日仕込んだヨ

りお!?

ある日、接待で訪れた
売春宿での事……。

ラッキーネ、今なら
お金こんだけ払うと
名前つけられるけど……?

俺は店主に札束を渡し
この子に「りお」
と名前を付けた!!



見れば見るほど
娘に似ている……。

「私の事はパパと呼びなさい」
片言の現地語で
そう伝えると、彼女は
「ぱぱだいすき」
と言いながら
可愛いお尻で誘惑してきた。



ああ娘とのキス……
夢にまで見たベロチュー
これが娘の味……

近づいて分かったが
彼女の匂いは
日本人のとは
だいぶ違った。
人種や食生活の
違いなんだろうか？
俺は子供の頃口にした
異国の甘い菓子を思い出した。
とにかく甘い。ただただ甘い。



甘いキスが終わると
リオは俺のペニスに
頬ずりし始めた。

無邪気に、あどけなく
でもぎこちなく。

俺の血液は一気に
一点に集中していった。



娘のフェラチオを
疑似体験して
俺のペニスは
人生で一番
と言って良いくらいに
膨張していた。

前に倒すのも
無理な程
ガチガチになったペニスを
少女が不器用に
奉仕している。

人生最大の背徳感に
射精欲は高まる。



ああありお!!
俺の天使!!

二度三度跳ね上がるペニス。

リオは
上手く受け止めきれずに
涙目でむせ始めた。

ダラダラと口から精子を垂らしながら
怒ってるような：何か言葉を発しているが
俺には理解出来ない。



泣きじゃくるリオに訪ねる訊ねてみるとただ「怖い、怖い」と言うだけだ。

そんなに俺が恐かったのか……申し訳ない気分になりながらもまだかすかに続くオーガズムの余韻にムズムズしていた。

泣き止まないリオ。まさかこれで御開きじゃないよな……。まだ足りないぞ……。



聞き取れる単語を並べてみると硬いとか、怖いとか、凶器とかなんだか物騒だな……。

お喜さん
この子ちよっと仕込み
あまかたみたいヨ

わたしさいきん
ゲンキなくてネ

ん？どういふこと？



なるほど。仕込んだ店主が最近不能でリオはまだ未開通なのか。

可愛そうにそれは恐かっただろ。

パパが最後まで教えてあげよう

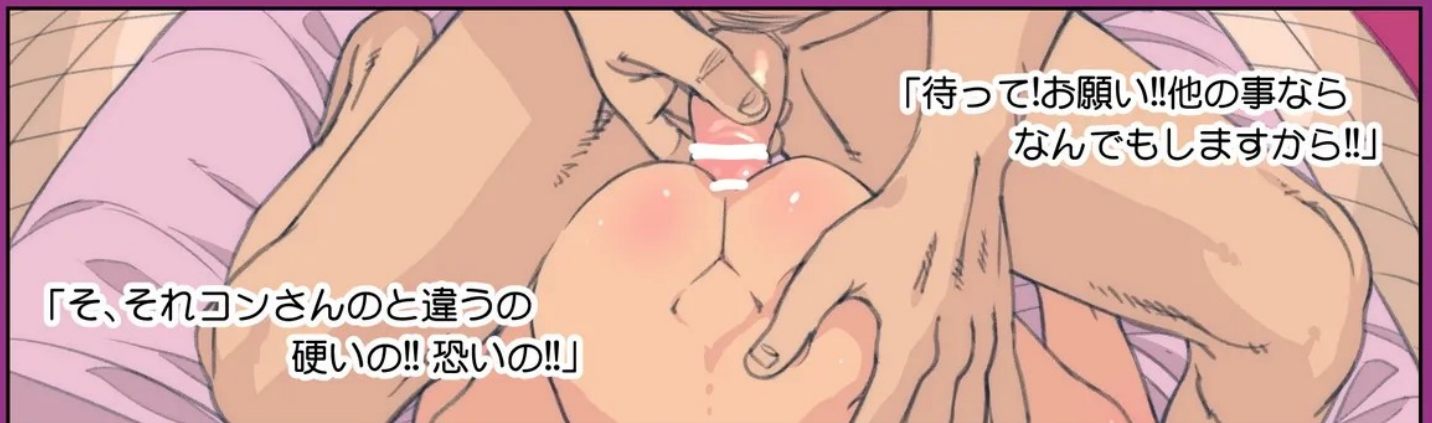
ジタバタ暴れるリオを抱えて俺はあつという間にバキバキに戻った。



「きゃっ!!」



「や! やだあ! 助けてママあ!!」



「待つて!お願い!!他の事なら
なんでもしますから!!」

「そ、それコンさんのと違うの
硬いの!! 恐いの!!」

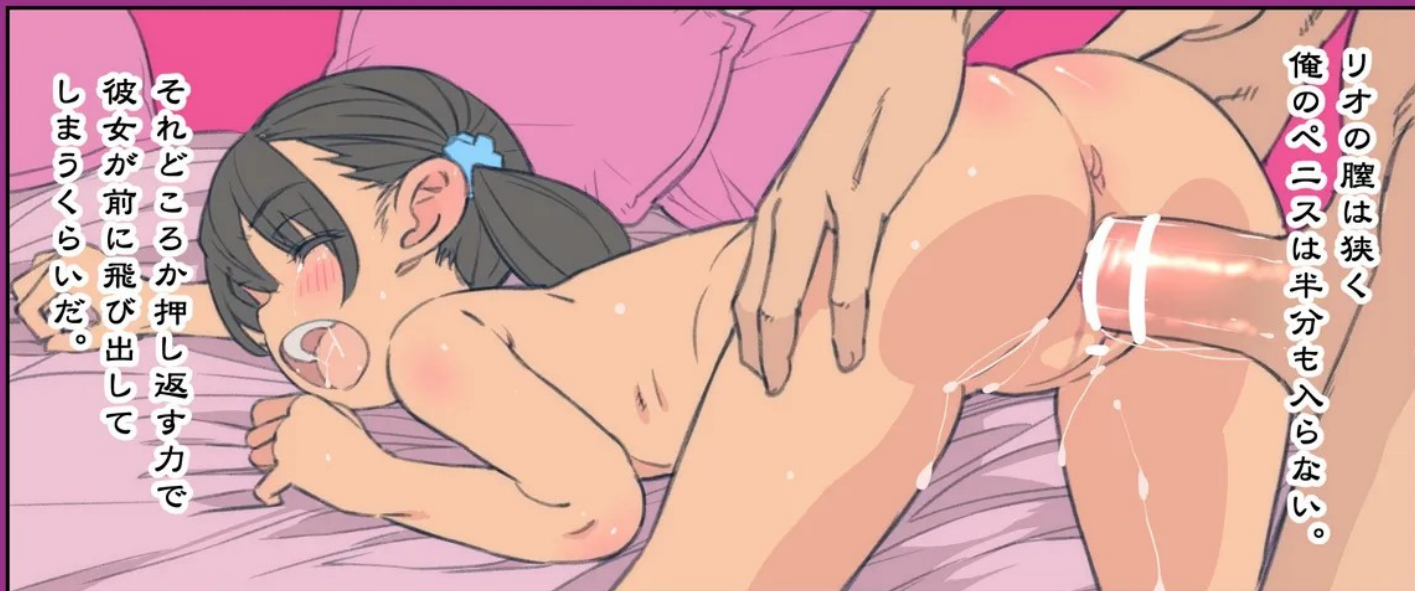


「裂けちゃう!!」

「プチって!!あープチって言った!!」

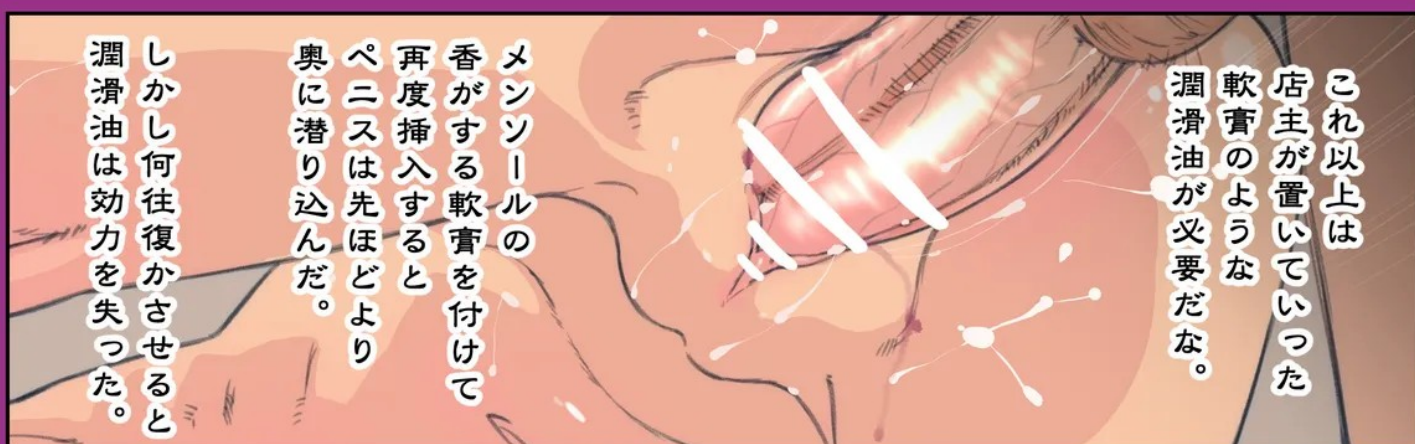
「ああ入っちゃう!!やだ入ってる!!」

「いひいひいひ!!」



リオの膣は狭く
俺のペニスは半分も入らない。

それどころか押し返す力で
彼女が前に飛び出して
しまうくらいだ。



これ以上は
店主が置いていった
軟膏のような
潤滑油が必要だな。

メンソールの
香がする軟膏を付けて
再度挿入すると
ペニスは先ほどより
奥に潜り込んだ。

しかし何往復かさせると
潤滑油は効力を失った。




ピタリと張り付いた粘膜は
俺とリオを完全に一体化した。

一見動けなさそうな状況だが
ペニスの包皮を利用して
俺は腰をスライドさせる。

うなぎ小僧つるべえの原理だ

少女とセックスする場合
皮はある程度被っての方が
扱いやすい。
このときばかりは仮性包皮に感謝だ。



抜かずに2発射精し
30分ピストン運動を続けると
つかえは取れ
動けるようになった。

どーだリオ
パパのチンポは!!

おまえの
イヤらしい縦スジマンコに
ズポズポ入ってる肉棒は!!



パパ大好き!!
パパ大好きって言え!

「パ・パパ……
パパ……だいすき……」



よしご褒美だ

上の口と下の口
同時に体液を流し込んでやる。
喜んでいるのか、リオはフルフルと震え
少し失禁した。



日本との時差は小一時間
りおはそろそろお休みの時間かな。

もしもし？
りお？



「あ、パパ
うん今お風呂
上がったとこ」

「今？まだ裸だよ？
もーパパのエッチい」

「うん私も
え？は？は？」



「パパ愛してる♡」
チユッ

愛してる！
愛してるんだ
りおおお！！

数回目の射精にもかかわらず
今日一番の量が出た。

もう何時間繋がっているんだろう。

彼女の体はもうとっくに限界で
すり切れた小陰唇が
子供の唇くらい腫れ上がっていた。

それでも防衛本能からか
タプタプと愛液が溢れ俺のペニスを滑らせる。

ごめんね……。

もう終わらせるから……。

先ほど突き上げるのではなく
ユサユサとゆらしたとき
軽く絶頂していたのを
俺は見逃さなかった。

こうするといいんだろ？
これがいいんだろ？

ロングストロークではなく
振動するように刺激してやると
リオは切なそうな顔になった。

低い声で唸るリオ。

膣がバクバクと収縮し

あごをあげた瞬間

俺も絶頂した。

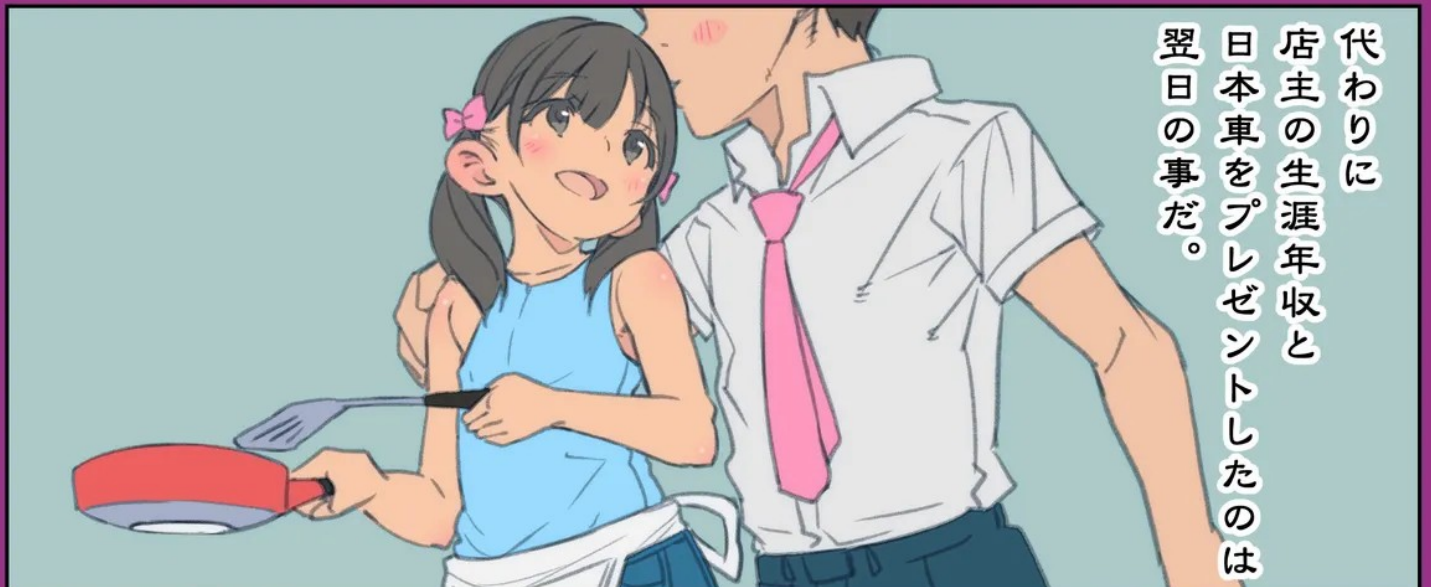
さすがに精子はほとんど出なかったが
この上ない快樂の波が押し寄せてきた。



店主が何度も日本人のペニスは何故そんなにコンパクトなのに使うときは硬いんだ？
としつこく聞いてくるので「日本人は機能性重視なのさ」と伝えておいた。

最後にインスタントカメラで記念写真を撮ってくれた。

もっと払えば好きなタトゥーを彼女に彫れると言うが趣味じゃ無いので断った。



代わりに店主の生涯年収と日本車をプレゼントしたのは翌日の事だ。

HappyEND

